

パソコンとインターネットで CW

JJ1SXA 池

パソコンで **CW** と聞くと、今流行りのコンテストソフトを思い浮かべるかも知れませんが、今回の話は、パソコンのキーボードから **A** をタッチすれば、**・ー**と信号が送出されたり、**・ー**を受信するとモニターに **A** と表示、或いは、メモリーしておいた文をキーワンタッチで送出してくれるようなソフトの話ではありません、無線機を使わず、インターネット回線を使いますが、あくまでも **CW** の交信、モールスを手打ちして交信するのです、早い話、無線 **CW** では無くインターネット回線 **CW** です、デフォルトでは、キーボードの↓キーでも打てますが、正しい符号を出すのが難しいので、縦振れキー、パドル等をつないだ方が良い、私は、中古のRS232Cケーブルを **105** 円で購入、9ピンメスコネの反対側を切断、4番と6番ピンの線に縦振れキーをつないで使っています。

今や、**Wires**、**eQSO**、**echolink** 等の **VoIP** 無線は、まだ無線と言えますが、無線に取って代わって携帯電話とかスカイプとかしかやらないハムが増えています、インターネットの発達と、住宅事情等アンテナ設置関係の問題とか、その他にも色々な要因があるのでしょう、又、無線の神秘性を追求するか、確実な交信や手軽さを求めるかで選択がほとんど正反対に分かれるのだと思います。

リグやアンテナの性能向上を追い求め、作っては壊し、ひたすら改善に努力したり、より遠くの珍局と交信したいと、日夜ワッチに次ぐワッチ・・・こんな時代は、「遠い昔になりなけり」の感もあります、性能の良いメーカー製が手頃な価格で販売される中、自作は道楽、また、ワッチに次ぐワッチで珍エンティティをゲットなどと言う事はほとんど無く、珍になればなるほど、事前の情報が行き届くようになりました、諸々のこんな事情を背景にすれば、無線の替わりにインターネットというのも容認せざるを得ないのかも知れません、今回紹介のインターネットでの **CW** 交信のソフトである、**CW - Communicator** の他、インターネットでの **SSTV**、**iSSTV** などもあります。

私は、下手の横好き、**CW** 大好き人間、パソコンのキーボードでの **CW** は、**CW** とは思えません（もっとも、私はパソコンキーでは入力が追いつきませんが、それは別の話）、無線であるか、インターネット回線であるかは別にして、電鍵を手打ちしての交信は、正に **CW**、パソコンキーでの **CW** とは全然違うと思います、そんなわけで、無線機やアンテナが無くても、パソコンがインターネットにつながっていれば **CW** 交信ができる、モニターに送受信の内容が表示されるが、音を聞くだけでそんなものは見なければ良い、逆に練習用に最初の内はあった方が良いでしょう・・・こんなソフトの紹介です、ダウンロードサイトは、240のホームページにリンクしていますし、必要最低限の設定方法も見られるようにしてあります、**CW** 交信の初心者には、インストールして、交信練習をやりませんか？（記事を書き終えた後に、**JA1DQE** 局から、情報提供がありました）

インストール後の設定(Cwcom 通信を使用する為の必要最低限の設定)

Cwcom を立ち上げた時のツールバーの項目(左2番目から右へ)の説明

- (1) **Connect**(地球のマーク)をクリック
 - (a) 使用チャンネルを変更する場合は、**Channel** の数字を変更する
 - (b) **CALL Sign** の部分に自分のコールを入力
 - (c) をクリックすると接続します
- (2) **Users activeonchannel**・・・**とりあえず設定には関係ありません**
- (3) **Web viewofall users**(CRT 画面マーク)・・・**とりあえず設定には関係ありません**
CWcom 全使用者の **connect** 状態が **Web** 画面で見られます
- (4) **Send File(Text connects)**・・・**とりあえず設定には関係ありません**
- (5) **Print**・・・**とりあえず設定には関係ありません**
- (6) **Font**(アルファベットAのマーク)・・・画面表示のフォントが変更できます
- (7) **Configuration**(3つの調整スライダーマーク)クリック
 - (a) **Morse** をクリックし、チェック項目に全てチェック
speed を **60%**にする、**Tone** は **1000** で **OK**
 - (b) **Translation** の項目には全てチェック
 - (c) **morse key** は、デフォルトでは、**key board** になっています、ほかの電鍵を接続する場合は **Comport** を選択 (**Comport** の番号を間違えないように)
 - (d) **speed** は、最初は **10** に設定、**lock** にチェックはしない(文字化けの原因)
 - (e) **morse mail** の項目にチェック
- (8) **Volume**・・・**とりあえず設定には関係ありません**
- (9) **HTML Help for CWCom**・・・**とりあえず設定には関係ありません**
- (10) **Morse Library Editor**・・・**とりあえず設定には関係ありません**
とんでもない符号を打つと「？」が出ますが、正しい「？」の符号は、コードを編集する必要があり、ここで編集します。

以上で設定は、ほぼ完了です

Cwcom に **Connect** する前に、**offline** で文字化けしていないか確認して下さい

(おまけ)

キーボードの「↓」キーでは打鍵しにくく、文字化けでは無いが、符号間違いが多くなりますので、他のキーをつないで運用した方が良いでしょう、縦振れキーを使う場合は、(7)・(c)で、**Comport** を選択し、**RS232C** 9ピンコネクターの4番ピンに縦振れキーのコモン側を、6番ピンにパドル側を接続します。(25ピンコネクターの場合は、4番ピンに変えて20番ピン使用、6番ピンはそのまま使用)

Hpe cu on CWcom de JJ1SXA